

傍聴許可願について

(加納委員) 私どもも、開かれた議会、委員会ということでさまざま工夫してきた結果として、今モニター傍聴等含めて、皆様方に少しでも議会、委員会を知っていただくという工夫の上で今のような状況になっていますので、モニター傍聴で対応していただければと思います。

「次世代育成支援行動計画」後期計画の骨子について

(加納委員) まず、私もここに全く数字がない。骨子だからということですが、一番大事な前期の総括とか検証がここに書かれているけれども、この中で子育て生活の満足度だけが突出して69.5%から77.7%とあり、それ以外について細かな数値もなければ、どういう形でここに1枚にまとめられたのか。皆さん方が持っていらっしゃる前期計画の数値、データから検証してこうなったというものを、できたら資料としていただきたい。骨子があって、さらに素案の公表もあるわけですから、今後委員会でまた議論させていただくということもありますので、前期計画の検証に至ったそれぞれの事業を含めた結果、数値であったりデータ、推移について、こういうことだからここにある検証結果だというものを、我々委員会のメンバーにもしっかりと、私としては資料としていただきたいのですが、いかがでしょうか。

(屋代ども青少年局長) そういう方向で提出いたします。

(加納委員) そのデータを見させていただいて、ここにまとめられた検証結果と私自身も前期の総括、検証をしっかりと確認した上で、それに基づいた課題、ここにも課題がありますけれども、常任委員会の一員として、その検証とここに書かれている後期計画の流れの中での課題、目標を進めていくについて、しっかりと認識した上で議論させていただきたいと思います。

今回、この委員会に入る前に幾つかの資料要求をしました。次世代育成支援行動計画のメンバー一覧と議事録、先ほど委員会で5回審議したとかありましたけれども、議事録をいただきまして、各先生たちが、特に会長さん、横浜国立大学教育人間科学部教授の高橋先生が中心としてやった議事録を見させていただきました。そういった部分ではここに書かれていることはよくわかるのですが、そこで、ここにある課題や目標、今後の取り組みは、素案の段階で数値をきちっと出してもらいたいと私もお願いいたします。素案の段階では、この資料の後期計画の達成目標があって、取り組みがあって、その取り組みの右横におのずと目標値や細かな事業名が多分出てくると思うのですが、そういう認識でいいのでしょうか。

(屋代ども青少年局長) 達成目標を具体的な成果指標、アウトカム指標でこうしますよと出していきたいと思います。

(加納委員) 多分そうだと思うのです。そこでしっかりと我々議論しなければいけないし、また意見も申し上げなければいけないので、具体的な数値をしっかりと出していただきたいとお願いします。

それから、プロジェクトのかかわりについてもさきの委員会で申し上げましたけれども、途中から市長が一生懸命やりたいということでプロジェクトを立ち上げていただいて議論をしている。私どもから言うと新聞報道でしか見てはいないので、大枠新聞記事の中での推測でしかないのですが、ども青少年局にかかわっているものだから、我々が市民を代表して議員として、さらに団を代表して来ているわけです。庁内の連携の中で次世代育成支援行動計画が進められて、骨子の段階でも市長に報告されて、さらにそれが発表されて新聞報道されているわけですから、プロジェクト云々だけではなくて、どうして委員会に少しでも情報が出てこないのかと思うのです。そこで先ほど予算との絡み云々ということがあったので、確か2月の冒頭から我々予算研究で勉強させていただきますから、そこで初めて出てくると推測するのですが、プロジェクトの中身についても議論する以上、できるだけ早く我々にきちとした資料をいただけないか、局長からプロジェクトのほうへ伝えていただけないか。

(屋代ども青少年局長) プロジェクトの事務局は都市経営局ですが、プロジェクトではいろいろ幅広く議論

を行っておりまして、予算発表の時期にその内容や規模、金額を確定させて発表していきたいと聞いております。我々は中身については、局としてもいろいろ意見を言っているところですし、プロジェクトとはいろいろとやりとりはしていますが、1月末ぐらいにはプロジェクトの中身が出てくると思います。

(加納委員) こういう意見があったということはしっかりと伝えていただきたいと思います。我々が議論するについては、ここの所管する局の問題ということと、次世代育成については、今おっしゃったような他局も入って全庁的に進めているわけだから、我々の委員会で議論するときに、その状況がここに入り込んだ上で議論していかないと、骨子、素案とは言え、そこだけが抜けてしまうとか、そこだけが時間差が出てきてしまうというのでは議論にならない。その辺については意図するところをしっかりと伝えていただきたいと思います。

中身については、これはあくまでも骨子ですから、素案が出てきてからの話かと思えます。いずれにしましても、数値、データ、前期の検証結果についてきちっともっと細かい資料をいただいた上で我々は議論しなければいけない。

(加納委員) やりとりを聞いていたら全く失礼な話ですよ。この資料もそうですけれども、プロジェクトと書いてあって、そこは全くプロジェクトで、私どもは知りませんか対応は云々というニュアンスで私どもは聞いているわけです。今の話は中身はもう知っています。ただ、発表の時期について、どこまで発表できて、どこまでということは予算に絡む問題についてはわかりますよ。でも、委員会で議論する以上は情報提供する義務があるでしょう。皆さん方、これだけのことをやるならば、まして5年間の計画をしなければいけない。しかも1月から2月に素案と言っているけれど、この書き方は局長が言うように1月末から2月初旬と書けばいい。1月から2月だから1月4日の仕事始めから2月末日までということですか。私どもも皆さん方の御提案するものについて一生懸命議論させていただこうとしているわけです。だから事前に御説明いただいたり、資料要求させていただいたり、勉強させていただいて、ここに来ているわけです。そういった部分では余りにも不親切です。だから、わかっているものがあって、これは言えますけれども、これは言えませんかきちんと分けていただいて、そういう形で先ほどの説明の中で局長がお伝えいただければ、なるほどなとわかるけれども、いかがでしょうか。

(屋代こども青少年局長) 都市経営局によれば、ただ、市長へ報告しているという状況で、中途段階でプロジェクトとして報告している内容なので、確定したものではないということで予算発表のときと言っていると思えます。できるだけ早く皆様の前で説明できるように都市経営局と調整させていただきます。

妊婦への新型インフルエンザワクチン接種について

(加納委員) さきの委員会で検討していただくようお願いしていた件について、確認させていただきたいと思えます。11月16日からの妊婦さんへのワクチン接種の件で質問させていただき、副市長からも御答弁いただき、鈴木部長からも御答弁いただきましたけれども、こども青少年局所管で、妊婦さんへの新型インフルエンザのワクチン接種が始まるという趣旨で発信していただきました。その後の状況について、私どものほうに幾つかお問い合わせがあって、大変現場では混乱していますけれども、こども青少年局に何か情報が上がっていますか。それから健康福祉局との連携についてどうなっているか質問して、なかなか連携がとれてないという御答弁をいただき、今後しっかりと連携をとりながら、情報の共有化をしながら、発信している側と健康福祉局としっかりと対応していくという話ですが、その後どうなったか。それから情報を共有化した上で、現状、現場はどうなっているのか教えていただきたいと思えます。

(鈴木こども福祉保健部長) 健康福祉局の健康安全課とは従前から随時情報交換はしておりまして、日にちを定めているわけではございませんが、最低月1回は課長、係長レベルで情報交換をしていた経過がございます。その後、随時の情報交換は別にしまして、顔合わせての情報交換、打ち合わせを2回実施しておりまして、うち1回は私も参加しております。

妊婦さんに対する新型インフルエンザワクチンの予防接種も始まりましたが、ワクチンの供給量そのものにつきましては、横浜市ではなかなかコントロールしきれないという部分がございます。健康安全課を通しまして、県のほうに適正な配分を従前からお願いしていましたが、引き続きお願いをしています。

妊婦さんに対する情報提供につきましても、随時状況が変わっているところもございますので、健康安全課から情報をいただきまして、同じ情報を妊婦健診等の際あるいは母子手帳交付の際に情報を提供するようにしております。

（加納委員） ありがとうございます。現場では私どもが聞く話、また私どもへの相談では、ワクチン接種へ行く前のさまざまな情報が錯綜してしまっていて、そのことだけで非常に現場が混乱しているという私の認識です。所管するところが情報の共有化をしていただきまして、特にこちらが発信する側ですし、発信して終わりというわけにもいかないのです。どうか共有化していただいて、フォローしていただく。第一線の病院、区役所、特に福祉保健センターの窓口等を含めてしっかりと対応方をお願いいたします。